

令和4年度 学校評価表（当初）

三原市立大和小学校（校番20）

a 学校教育目標		夢や目標に向かって、自ら伸びる とともに伸びる児童の育成 (校訓) 自ら伸びる とともに伸びる		b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】 自分を愛し、夢を語る児童の実現 【ビジョン】 児童、教職員、保護者が「夢や目標に向かって、自ら伸びる とともに伸びる」という教育風土がある学校 <めざす学校像> 「自ら伸びる とともに伸びる」という教育風土のある学校 <めざす子ども像> 「規律あるかわり合いを通して、自ら考えともに伸びようとする子ども」 <めざす教職員像> 「児童を守り、育て、育む」ことを自覚し、実践できる教職員										
c 中期経営目標	d 短期目標	e 目標達成のための具体的方策(大枠)	f 評価項目	指標	目標値	10月		2月		自己評価		改善方針		学校関係者		
						h 達成値	h 達成値	i 達成	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント	
豊かな学力 主体的な学びを実現する取組を通じ、学力の定着と主体的・対話的で深い学びを追究する	【授業改善による学力定着】 その学年で身に付けるべき学力を確実に定着させる	・45分間の授業で、基礎基本の力を身に付けるための授業改善【研究部】 ・児童の主体的な学びにつながる「問い」のある授業改善【研究部】 ・学び方の選択肢と自己決定のある授業改善【研究部】 ・教科書の文章を「読む」ことができる授業改善【研究部】 ・教材文等のごとく根拠を求められる授業改善【研究部】 ・「聞く」ことを大切に、ねらいを達成するためのペアやグループによる学習のある授業改善【研究部】 ・通達率40%未満の児童への具体的な対応がある授業改善及び「白竜タイム」の充実【研究部】 ・学習規律の徹底し、親和性のある学習集団づくり【研究部】 ・学習指導部 ・ねらいを達成するために、ICT機器等を活用した授業改善【研究部】	単元末テスト(国語、算数、社会、理科)の学年平均値が指標に示す点を超える教科数(20教科) 【評価時期】(1学期末・2学期末) NRT学力テストの平均値が全国平均以上の教科数(12教科) 【評価時期】(7月) 全国平均以上の教科数 児童質問紙よりアンケートによる調査(※)「国語の、算数の、理科の、社会の授業がよくわかる」教科ごとにより総合評価する (イ)「授業では、課題や問題について自分の考えをノートやプリントに書いている」 (ウ)「授業では、課題や問題について自分の考えを話している」 (エ)「授業では、自分の考え方や解き方と比べながら友達や先生の話を聞いています」 (カ)「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりする」 (キ)「ICT機器を使って、問題に挑戦したり、まとめたり、調べたりすることを進んでいる」 【評価時期】(1学期末・2学期末)	平均値 1-2年生(90点) 3-4年生(85点) 5-6年生(80点) 20/20教科 12/12教科 90% 90% 90% 90% 90%												
豊かな心と親和性の高い集団 安心して学べる学習環境の基盤となる、規範意識の醸成を図るとともに、自他を尊重する心構え・態度を育成する	【生涯にわたって健康づくりをしよとする健康教育の充実】 【生涯にわたって運動しようとする心構えの育成につながる授業改善】 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する 児童に豊かな目標を持たせ、生涯にわたって健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現しようとする心と体を育成させる ・感染症を防ぐための取組の実施【健康安全部】 ・生活リズムを整える取組の実施(大和3部会)【健康安全部】 ・楽しく運動量がある体育科の授業改善【健康安全部】 ・自分の目標に向かって挑戦することができる体育科等の授業改善【健康安全部】 ・児童同士が「見る」ことを大切に体育科の授業改善【健康安全部】 ・自己決定の場がある体育科の授業改善【研究部】 【健康安全部】	児童質問紙よりアンケートによる調査 「体育の授業は楽しい」 「感染症防止のためにマスク着用、手洗い、3密を防ぐことをしている」 「※アンケート」 【評価時期】(1学期末・2学期末)	「体育の授業」95% 「感染症」100% 「※アンケート」100%													
														働き方改革 教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに、学校行事及び総合的な学習の時間の内容を精選するとともに、職員を健康を維持する。	教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに、学校行事及び総合的な学習の時間の内容を精選するとともに、職員を健康を維持する。 ・行事等の内容を精選し、行事に係る練習時間数を減少する。 ・総合的な学習の時間の内容を精選する。 ・各部に該当する行事を精選する。 ・関係機関・団体と連携する取組について、学校が担う業務を軽減する。 ・定時退校を実現する。 ・見直しを持った業務を行う。	○市の方針「勤務時間上限の目安時間」上限の目安時間及び特別的な扱い(※)に配慮されている内容を達成する 上限目安時間<45時間/月を超えない、360時間/年を超えない。 特別的な扱い(※)720時間/年を超えない、45時間/月を超えない。 1学期に1回まで、連続する複数月のそれぞれの期間について、1カ月当たりの平均が80時間を超えない。 【評価時期】(9月末・1月末)

【評価時期】
 A:100% (目標達成)
 B:80% (ほぼ達成)<100
 C:60% (多少し)80 D:70%以下<100

【評価項目】
 A:100% (目標達成)
 B:80% (ほぼ達成)<100
 C:60% (多少し)80 D:70%以下<100